

いわもと けい すけ
岩本 計介

心掛けています
思えるような番組作りを
今日もがんばろうと

Profile

京大法学部卒。2000年に朝日放送に入社し、2015年からは平日朝の情報番組「おはよう朝日です」の総合司会を務める。

アナウンサーになるまで

—アナウンサーを目指した理由は？

目指していたわけではなかったんですけど、就活の時に何となくテレビ局が楽しそうになって思ったんです。

ディレクターとかになれたらいいなって思ったんですが、ぼーっとしてたら東京の放送局のディレクター職は締め切り間近で、慌てて履歴書とか書いて送って、関西の方にも出そうとしてたら関西は締め切りが少し遅かったんですね。アナウンサー試験はディレクター試験よりも締め切りが早いんですが、関西は東京と違ってまだアナウンサーも応募できたんで、面接の練習のつもりでアナウンサーの採用試験にも申し込みました。

それと、面接で隣に座った子がアナウンサーになったら一生のネタにできるなあって(笑)「俺あの子と知り合いやねん」なんて言えたらいいなとか思ってアナウンサーの試験を受けたんです。

—アナウンサーになるために何か特別なことはされましたか？

それがしてないんですよ。だからなぜ合格できたのかもよくわかっていないんです(笑)

ABCの他にもいくつか関西の放送局に応募したんですけど、全部1回目の面接でダメで、でもなぜかABCだけ進んでいくんです。アナウンサーになる試験ですから原稿を読むとか実況するといった専門的なものもあるわけですけど、何も準備せずに行っただけでどんな試験があるかわからわかっていない状況でした。

ただ、偶然に偶然が重なったんです。最初の面接では、いくつかブースがあって空いたところに案内される方式だったんですが、行ったブースのアナウンサーがスポーツ実況をしている人でした。僕は京大で4年間アメフトをしていたんですが、履歴書を渡したら「京大のアメフ

トですか！ 監督はお元気ですか？ 私、以前監督を取材してしまして……」って向こうからどんどんしゃべってくれるんですね。それで5分くらいずっとアメフトの話をしてたら「はい！ もういいです」って言われて。ええ?! なぜアナウンサーになりたいかとか聞かれるんじゃないの？ あ、面接はこうやって落とされるのか、って思っていたらまさかの合格。今から考えると、ニュースキャスターのところに振り分けられて「最近気になっているニュースを1つ言ってみて」とか言われてたら100%落ちていたなあと思います。

次の面接でも、高3の時に野球部が県代表で甲子園に出たんですが、それを取材していたアナウンサーが面接官で、その話で盛り上がりました。ABCとは極端に縁があったというか、こういう偶然に助けられて、アナウンサーになれました。

アナウンサーになって

—アナウンサーになる際に苦労したことはありますか？

アナウンサースクールも行ったことがないしずっと関西で過ごしていたので、アクセントは苦労しました。あとは鼻濁音という、鼻にかかったようなガ行の発音が関東の人は自然とできてるんですが、関西人の自分にとってはすごく大変でした。

初めてニュースを読むまでに先輩のアナウンサーから2ヵ月間講習を受けるんですが、家でもどこでも標準語をしゃべりなさいって言われて。アナウンサースクールに行っていないという負い目があったんでその2ヵ月はまじめにやっていたんですが、結構きつかったです。

—アナウンサーになって、初めはどんな仕事をされていたんですか？

最初はラジオニュースが多かったですかね。それができないと次のステージに

進めない感じだったので、一日に2、3本読んで、空いた時間はスタジオの横で見学したり、読んでニュースを録音して先輩に聞いてもらったりしていました。

あとはスポーツ実況をしていました。アナウンサーの仕事って他にもバラエティー番組の司会とかニュース番組とかありますけど、アナウンサースクールと行ってないんで、何やりたいねんって聞かれてもスポーツ実況したいですくらいしか言えないというか(笑) 高校野球とか阪神タイガースの試合、ゴルフにアメフトなど、いろんなスポーツの実況をさせてもらいましたね。

—「おはよう朝日です」の総合司会を任せられた時はどんな気持ちでしたか？

ドッキリやと思いましたね。なにせ大学時代はアメフトしかやってないですし、アナウンサーになってからもスポーツ実

況しかしてないですし。ニュースコーナーの勉強もしてきてくれと言われましたが、いきなりのものでまさか自分がという感じでした。

—スポーツ実況と情報番組の違いは？

スポーツ実況はスポーツに特化しているというか、狭い範囲を深く掘り下げますが、情報番組は広い守備範囲が求められると思います。それまで見たことのないドラマをちょっと見たり、新聞も芸能面まで読むようにはなりましたね。

でも共通点も多くて、まずは生放送であること。長くスポーツ実況をやらせてもらったこともあって、「おはよう朝日です」の生放送の緊張感も大丈夫でした。あとは原稿がしっかりしていないところですね。情報番組の台本とかも段取りがちょっと書いてあるくらいなんです。でも僕はそっちの方が好きですね。

アナウンサーとしての生活

——最近の一日のスケジュールを教えてください。

起床は深夜2時半です。3時半にタクシーが迎えに来てくれて4時に出勤します。それで着替えて身なりを整えたりしていると5時前で、そこからいろいろ打ち合わせをやっていると6時43分とかになって、急いでマイクをつけたりして45分から番組が始まります。「え、これテープ間に合うの?! えええええー……おはようございます(*^_^*) ニッコリ☆」なんてこともあったり(笑)

番組は8時に終わるので、反省会をしたり社員食堂で朝ご飯を食べたりします。そこからはロケや取材に行ったり、お昼に退社して甲子園に行くなんてこともあります。そして21時ごろには寝る生活です。小学生の息子より先に寝ます。

休日も朝4時とかに目が覚めて、録画していたビデオを見たり、半身浴しなが

ら新聞とか本を読んだり、あとは犬の散歩に行ったりしています。

——日課で喉のケアなどはされますか?

あまりしてないです。日課といえば早起きと筋トレですね。大学時代は筋トレが大嫌いで、重たいものを上げて下ろすとか位置エネルギーの無駄遣いやろなんて思っていたんですけど、社会人になって太っていくのが嫌でトレーニングは続けています。会社の側にジムがあって、多いときは週に5日くらい行きます。

——アナウンサーという仕事をするにあたって心掛けていることはありますか?

目の前にはカメラしかなくてつい自分たちのことばかり考えがちなんですけど、カメラの向こうには何百万人の方がいるわけですね。そのテレビを見てくださっている方の満足度を上げることが一番大

事で、それを忘れないように気をつけています。

——大変なことはありますか?

寝坊できないことと体調を崩せないことですね。たとえば草野球をしようとなっても、肩が痛いとかならまだ大丈夫だけどアキレス腱を切ったら手術で休むことになるなとか、足は骨折しても出れそうだけ手はだめだなとか。他にもインフルエンザとかは休まないといけなわけですし、体調管理は大変です。

でもそれって僕が出ないとダメってことじゃないですか。僕が体調を崩しても誰かが代わりに入って毎日大丈夫なら別にいいわけです。夜にみんなが飲みに行く中で自分だけ帰るなんてこともあったりしてストレスにもなりますけど、それはオンリーワンの仕事をさせてもらっているからだって思っています。

京大での生活

——なぜ京大に進学されたんですか?

実は初めは教育大に行こうと思っていました。教師になりたかったんです。でも高2の時に親にそう言ったら、先生になるのはいいけどもっと他の仕事を見てから決めてもいいんじゃないかって言われて、確かに今決めてしまうのはもったいないなと思って教育大に行くのはやめたんです。

それで僕は出身が奈良で海がないので、海があって、あと一人暮らしができるところがいいなってことで、神戸大学に行きたかったんです。で、当時お付き合いしていた彼女と、彼女は別の大学を志望していたんですけど、一緒に勉強してお互い第一志望に受かろうなって言っていたら、僕は落ちて彼女は受かるパターン(笑) しかも後期発表待ちの間に振られて、まだわからんやんって。まあ案の定落ちたんですけど。

滑り止めも受けていなかったんで浪人が決まったんですけど、その時にこの彼女を見返したろって思ったんですね。どうしたら見返せるかって、関西が一番難しい大学に行ったら彼女ももったいないことをしたなあと思うんじゃないかって(笑) くだらない理由ですけど、そこで京大に行こうと決めました。

——法学部に決めた理由は?

別に弁護士志望とかではないんです。あまり学部こだわりがなくて、予備校で志望校のチェックシートを書くときに、とりあえず一番上にあった法学部にチェックしたのがきっかけです。

——京大ではどんな生活を送られていたんですか?

アメフトばかりしていました。アメフトする気なんてサラサラなかったんです

けど、合格発表の時に「合格おめでとう。アメフトどう?」って声をかけられました。それでもアメフトをする気はなかったんですけど、入学手続きとか行くたびに声をかけてくれて、そのうち「アメフトで日本一、頂に立った男しか見られへん景色見ようや」みたいなこと言われた時に、めっちゃかっこいいやんって思って。気付いたら1年生の4月から入部していて、それ以降はアメフトまみれの生活でした。



今後に向けて

——やりがいを感じる瞬間は?

町で「テレビ見てるよ」って言ってもらえる時ですかね。「いつも元気もらってる」「ありがとう」「あなたの顔見な朝始まらへんわ」とか言ってもらえることもあって、こんなにダイレクトにありがとうと言ってもらえる仕事ってもしかしたらあまり多くないんじゃないかなって。それを感じられるのが一番うれしいです。

——番組を通して視聴者に一番伝えたいことは?

毎日放送していると交通事故とか災害などの気乗りしないニュースも伝えないといけないわけなんですけど、ただそんな番組でもどこかに今日もがんばろうと思えるような要素は入れたいなって。椅子から立つときの気持ちが少し軽くなるような番組を目指して、これからもいろんな企画をやっていききたいです。

——憧れのアナウンサーはいますか?

あまりいないですね。誰かに憧れるというよりはむしろアナウンサーっぽくなくありたいですね。アナウンサーっぽさという勝手に作られた虚像があると思うんですけど、その枠から出ていくようなアナウンサーになりたいです。

——今後してみたいことはありますか?

番組に背中を押してもらわないとできないことをいっぱいしたいですね。今まででいうと、番組のアシスタントをしていていたアナウンサーが、卒業の時にオペラを歌いたいって言って、じゃあ岩本がピアノを弾けて。楽譜も読めないのに本格的なオペラを弾くことになって、結果的には楽譜にカタカナで音を書いてもらって指で覚えて弾きました。この年になってピアノを弾こうなんて絶対自分では思わないじゃないですか。

他にも豪雨被害に遭った和歌山の温泉に復興のお手伝いに行く企画でショベルカーの免許を取ったり、ウルフルズさんのライブでバックダンサーとして踊らせてもらったり。番組の後押しがあってやらせてもらっているのは、結構大変ですけどありがたくて、そして面白くて。練習も大変ですしプレッシャーもありますけど、これからもやっていきたいです。今年も番組40周年の企画を予定しているんで、楽しみにしててください!



ABCテレビアナウンサーFacebookより

(理・2 たけのこごはん)
(味噌汁にするとおいしいそうですね;編)



大学時代を振り返って

——クラブ活動で印象に残っていることはありますか?

アメフトをがんばっていたといってもずっとレギュラーとかいう感じではなくて、怪我もよくしていました。しかも3回生の終わりに腰の怪我をして、手術した上に次は後遺症残るかもという恐怖もあって、選手はやめてマネージャーとしてサポートしたいってミーティングで言ったんです。そしたら、当時のキャプテンで一昨年まで京大アメフト部の監督をしていた西村が、お前は選手で残ってくれて言ってくれて、結局リハビリしてアメフトを続けることになりました。

そして4回生の時の関西戦、当時京大関学戦という関西学生リーグ一番のカードで、僕はそれまでこの伝統の一戦には出たことがなかったんですけど、その試合でスタメンで使ってもらったんですね。ボールを取るポジションのレシー

バーとして起用してもらって、1回パスを取ったんですよ。しかもそれが自分用に用意してもらった特別なプレーで。そのあと得点にもつながらなくて試合の流れからいってもなんてことのないパスキャッチ1本なんですけど、僕の中では大きなことだったというか、あの時を思い出すとがんばれる、これからも支えてくれる、そんな1本でした。

——大学時代にやってあげよかったことはありますか?

これは間違いなく留学ですね。僕は関西で生まれ育って大学も放送局も関西で、関西は大好きなんですけど、それでもやっぱり海外に住む経験はしておきたかったとはすごく思います。もちろん旅行とか出張で海外に行くことはありますが、やはり住まないといけないことはたくさんあるんじゃないかって。大学

時代を振り返っても、アメフトの世界は深く体験できましたけど、他の世界を見る気があまりなかったのは少し後悔しています。

——最後に京大生にメッセージをお願いします。

とにかくがんばって、自分が興味のあることをやるのはもちろん、今は興味がないものでも、もっといろいろな世界を覗いたら面白いんじゃないかなって思います。僕はアメフトしかやってなかったんですけど、これはこれで貴重な経験ですが、もっと広い世界を見て、自分の器を大きくして行ってほしいです。学生の武器は自由と体力だと思うんで、それを前面に出して、いろんな世界を経験して、大きく羽ばたいて行ってほしいです。

——ありがとうございました。

はみだし
すてーじ

次の元号は「まんじゅうがに饅頭蟹」です。
⇒もう次の元号予想ですか。気が早いんですね。

はみだし
すてーじ

平成ではみだせなかった…。
⇒製本されるのは平成なので

(他 レインボーインコ)
(実質平成ではみだせています! ;編)